令和5年度 大阪府大阪市医療・病床懇話会 議事概要

日 時: 令和6年1月19日(金)午後2時から4時

開催場所: J:COM 中央区民センター 2階ホール

出席委員: 13名(委員総数 15名)

(焦委員、河村委員、藤村委員、森委員、大道委員、宮本委員、加納委員、中尾委員、西浦委員、西口委員、片桐(均)委員、谷岡委員、中山委員)

■議題1 第8次大阪府医療計画の概要と基準病床数について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料 1-1】第8次大阪府医療計画(素案)概要

【資料 1-2】「新興感染症の発生・まん延時における通常医療の提供体制確保」(素案)概要

【資料 1-3】第8次医療計画における基準病床数設定と今後の対応について

【資料 1-4】第8次大阪府医療計画 策定スケジュール(令和5年度後半)

【災害医療】

(質問)

○資料 1-1「4. 第8次医療計画の主な取組」について、医療機関における非常用電源の確保は非常に重要であり、「災害時に備えた非常用自家発電設備の整備、浸水対策等にかかる取組」は適切な着眼点だと思うが、具体的にはどのような取組を想定しているのか。

(大阪府の回答)

- 非常用自家発電の整備状況は府全体で 85.8%であるため、国の補助制度の周知に努めている。
- 医療機関における非常用自家発電設備における支援について、これまでも大阪府内では、各拠点の訪問看護ステーションに非常用自家発電設備を配備し、在宅療養患者を担う訪問看護事業所に対し貸し出しを行うことで、平時からの自助行動の促進に取り組んでいる。災害時においても、自身で整備ができてない患者に対してその拠点のステーションから貸し出す体制をとっている。
- 第8次医療計画では、今後訪問看護ステーションへの配置台数の増数や地域に応じてステーション数を拡充するという取組に加え、新たに在宅療養患者の支援を行う医療機関に対しても非常用自家発電の設置を支援するといった取組も予定している。併せて、在宅療養患者への非常用電源の支援についても進めてまいりたい。
- また、浸水対策の支援については、今後、医療機関における浸水対策に対する支援も行うべく、先述の非常用自家発電装置と併せて予算を検討している。

(意見等)

- 今後、在宅療養患者への支援も大切だが、災害時に備えた医療体制に対する直接的な支援も重要と考える。
- 有床診療所も含めた病院、特に救急病院について、非常用自家発電装置の整備等への直接的な支援をお願いしたい。

■議題(2)新興感染症の協定締結の状況について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室感染症対策企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料2】感染症法に基づく医療機関との協定締結について(大阪市二次医療圏)

【資料2(別添)】感染症法に基づく医療機関との協定締結大阪市二次医療圏医療機関(病院)別協議状況 一覧

(質問)

○資料2(別添)「大阪市二次医療圏 医療機関(病院)別協議状況一覧」について、病院の一覧となっているが、有床診療所はどのような位置づけと考えているのか。

(大阪府の回答)

○本資料は、地域における病院の役割分担の協議にあたっての資料となっている。薬局、訪問看護事業所、診療所に関しても同様に医療措置協定を締結する予定であり、最終的に大阪府のホームページにおいて、各項目(病床確保・発熱外来)別に、感染症法に基づいて医療機関名についても掲載する予定である。

(質問)

○有床診療所にも同様に役割があるという中で進めているという理解でよいか。

(大阪府の回答)

○そのとおり。有床診療所を含めた全医療機関に対して事前調査を行っており、一部の有床診療所については流行初期期間経過後に病床確保をすところもあり、発熱外来や自宅療養者等への医療提供等についてそれぞれの役割や機能に応じて回答をいただいているところである。

■議題(3)第7次大阪府医療計画最終評価・第8次大阪府医療計画 圏域編(案)について

資料に基づき、大阪市健康局から説明。説明後、質疑応答。

【資料3-1】第7次大阪府医療計画 最終評価 大阪市二次医療圏における医療体制

【資料3-2】第8次大阪府医療計画 大阪市二次医療圏における医療体制(素案)

【第7次計画の最終評価に関する質問】

(質問)

○資料3-1の第7次大阪府医療計画 最終評価について、例えば一つ目に「病床機能の確実な報告のために、報告率100%を目標に」の取組で、取組によって報告率が何%から何%になったのか等、取組項目の数値的な目標設定に対する測定を行っているのか。

(大阪市の回答)

○医療計画は都道府県が策定する計画であり、大阪府においてそれぞれの項目で目標値が設定されており、その評価は大阪府で行っている。今回はそれに基づいた圏域ごとの取組を掲げており、どの程度きちんと取組を行ったかについて評価している。

(大阪府の回答)

○医療計画の5疾病4事業について、いわゆるロジックツリーという施策指標マップをそれぞれの分野で設定している。有病率や死亡率など健康状態の改善を最終目標と位置付け、それに向けての医療体制の整備目標を設定し、各取組をとりまとめている。

○各分野の取組においても数値目標を設定し取組むかどうかは、今後できる限り設定いただけるよう関係機関と調整しながら進めてまいりたい。

■議題(4)令和5年度「地域医療構想」の取組と進捗状況について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

- 【資料 4】令和5年度「地域医療構想」の進捗と医療体制の状況(大阪府・大阪市二次医療圏)
- 【参考資料 1】過剰な病床の状況
- 【参考資料 2】医療法上の過剰な病床の状況
- 【参考資料 3】地域医療構想に関する各種データHP公表について
- 【参考資料 4】大阪市二次医療圏における各医療機関の診療実態
- 【参考資料 5】大阪市二次医療圏における各医療機関の入退棟経路
- 【参考資料 6】大阪市二次医療圏における回復期病棟への転院・転棟等にかかる状況
- 【参考資料 7】地域医療構想の推進にかかる支援策
- 【参考資料 8】病床機能の再編支援について(申請病院一覧)
- 【参考資料 9】重点支援区域について

質問・意見は、特になし。

■議題(5)令和5年度大阪市二次医療圏における各病院の今後の方向性について

資料に基づき、大阪市健康局から説明。説明後、質疑応答。

- 【資料 5-1】令和5年度病院プラン結果概要(大阪府・大阪市二次医療圏)
- 【資料 5-2】令和5年度病院プラン結果概要(医療機関別)(大阪市二次医療圏)
- 【資料 5-3】令和5年度病院プラン(抜粋)医療機関別一覧(大阪市二次医療圏)
- 【資料 5-3(別添)】公立病院経営強化プランの策定について
- 【資料 5-4】非稼働病床の現況について(大阪市二次医療圏)
- 【資料 5-5】令和5年度大阪府大阪市病院連絡会結果(概要)

【各病院の対応方針(病院プランにおける2025年に検討している病床機能等)】

(1)公立・公的病院

特になし。

(2)その他、民間病院等

医誠会病院・城東中央病院((現)医誠会国際総合病院)

(質問)

○医療法人医誠会について、城東中央病院において回復期・慢性期の病床を急性期病床へ転換した上で、2022年9月には全病棟を急性期一般入院基本料に変更しているが、大阪府の文書要請にも応じていないということか。

(大阪市の回答)

○そのとおり。

(質問)

○医誠会国際総合病院に関しては、GCU等の病床機能をもつ高度急性期病床を運営するというところであるが、確実に人員が配置されるのか事務局に確認をお願いしていたが、いかがか。

(大阪府の回答)

○昨年12月に大阪府・大阪市内にて医療法人医誠会に対し、開院後の診療状況、人員確保や、改めて府知事の要請文書に基づく改善状況について確認したが、府の要請に対する改善に関しては受け入れられていないという状況である。

(意見)

○医療法人医誠会については、病院から現在の状況等について説明を求めたい。大阪市北部及び大阪市二次医療圏として地域医療構想における病床機能分化・連携において、問題であるため、保健医療連絡協議会にて継続して議論していただきたい。

○医誠会国際総合病院に関しては、大阪市の土地を購入しての開設であるため、保健医療連

- 絡協議会において、しっかり議論をしていかなければならないと考える。
- 原則 10 床以上の過剰病床への転換に関して、保健医療連絡協議会において議論を行うとしている。

協和病院

(意見)

- 協和病院に関しては 10 床以上の過剰病床への転換計画であるため保健医療連絡協議会にてルール通り説明いただきたい。

【保健医療連絡協議会において対応方針について説明を依頼する病院】

- 医療法人正和会 協和病院
- 医療法人医誠会 医誠会病院・城東中央病院((現)医誠会国際総合病院)

【重点支援区域の申請(申請しないことについて)】

質問・意見は、特になし。

【病床機能再編支援事業申請医療機関】

質問・意見は、特になし(申請医療機関なし)。

■議題(6)地域医療への協力に関する意向書の提出状況について

資料に基づき、大阪市健康局から説明。説明後、質疑応答。

【資料 6-1】「地域医療への協力に関する意向書」提出状況(大阪市二次医療圏 診療所新規開設者)
【資料 6-2】「地域医療への協力に関する意向書」提出状況(大阪市二次医療圏 医療機器新規購入・更新者)

質問・意見は、特になし。

■議題(7)地域医療連携推進法人の認定について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課及び一般社団法人アゼリアひまわりネットから説明。説明後、質疑応答。

【資料 7】地域医療連携推進法人の認定について

(意見等)

- 新たな地域医療連携推進法人制度での画期的な取組みであり、ぜひ積極的に進めていただきたい。